

2016年6月10日

## 2016年度水資源利用学中間試験問題

1. 以下の専門用語を簡単に説明しなさい。(2行) 2点×10問
  - ・青の水
  - ・都市用水
  - ・仮想水 (バーチャルウォーター)
  - ・慣行水利権
  - ・暗渠排水
  - ・河状 (河況) 係数
  - ・濁水流量
  - ・被圧地下水
  - ・普通河川
  - ・租用水量
2. 「河川法」に対して、新たに水利権を得ようとする場合、その申請流量は、少なくとも、当該河川に対してあらかじめ定められている「基準濁水流量」から「既得水利権流量」および「河川維持流量」を差し引いた流量の範囲でなければならない。この文章で示されている「河川法」「基準濁水流量」「既得水利権」「河川維持流量」を説明するとともに、それに関連した「暫定豊水水利権」も説明しなさい。10点
3. 水不足に対処し、需要供給関係を改善する仕方にはいくつかの段階が考えられる。第一は、供給量を増強することであり、第二は、水使用量を削減することである。そして、第三は、水利調整を通じ配給制制度的に水配分を行うことである。これらについて具体的に説明しなさい。15点
4. 水資源の開発方法を4種類あげて説明しなさい。20点
5. 水資源としての地下水の利点と問題点をそれぞれ2つずつ挙げて説明しなさい。20点

以降の授業で改善したほうがいいところがあれば、記述してください。